

# 郵趣振興協会 活動報告（28）

## 2023年度 第4Q

2023年12月5日～2024年3月4日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会（以下「当協会」と略す。）は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

### 全国切手展「スタンペックス ジャパン 2024」の開催に向けた活動が本格化

本年3/30-4/1に開催を予定している全国切手展「スタンペックスジャパン2024」の開催に向けて、審査委員会・実行委員会の活動がそれぞれ本格化しています。

審査委員会は、12月21日の出品作品募集締め切り後、展示作品を決定し、提出書類による事前審査を開始しました。

実行委員会は、12月21日締切の出品作品応募者に対して同月28日にアクセプト結果を郵送すると共に、1月1日に展示アクセプト作品を発表。その後、出品料納付・出品封筒の送付・作品搬入に関するご案内を行うと共に、ご協賛いただいている無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社、公式ガイドブックの製作依頼を行いました。

出品者に対する各種ご案内に併せて、共催の郵政博物館との打ち合わせを重ねると共に、実行委員やブースの募集を開始し、設営・撤去並びに審査事務の支援・開催期間中の対応及び目録以外の製作物の作成と広報・宣伝を準備しております。

5回目の全国切手展となる今回は、昨年新たな試みとして導入した、『外国人審査員の招聘』を継続して行うことにより、国際展準拠の割合の高さを維持し、展覧会終了後の、出品者の課題を明確にします。

その分増加する展覧会開催の経費については、正会員・賛助会員の皆様からお預かりした会費収入を大切に使うと共に、本展覧会の継続が出品者にとり有意義であることを訴求し、寄付金の募集に力を入れて参ります。

また、昨年より始めた授賞式の開催については、厳かでありながら、交流も楽しめる場を継続できるように、より一層の改善を図ります。

### 「ジャパン・フィラテリスト・サミット 2024」プレミアム・スポンサーの決定

第5回 全国切手展「スタンペックス ジャパン 2024」会期初日（3/30）の夜に、「ジャパン・フィラテリスト・サミット 2024」を開催することについては前号で既報の通りです。

2023年3月に再開した同サミットは、過去最高43名のご参加をいただきましたが、今年の参加者は既にそれを超えております。

本会は着席のフレンチのコース料理を提供し、参加者が交流しやすい雰囲気ですが、会場は「フォーリンプレスクラブ」とも呼ばれ、度々記者会見の開かれる「日本外国特派員協会」の宴会場で、

一般の方がなかなか足を踏み入れない場所であることも、人気を博している一因の様です。

東京駅前（皇居前）の立地での会食ということもあり、物価高騰の影響も大きく、席料も含めた一人当たり単価は 13,000 円までが見込まれており、昨年からパーティーのみを支援するプレミアム・スポンサーの募集を行ってまいりましたが、昨年に引き続きスタンペディアオークション株式会社様のご協賛（プレミアム・スポンサー）を頂くことができました。

お一人あたりの参加費用 7,000 円で、3 月 22 日まで参加者を募集しておりますので、今からでも参加を希望される方は、電子メールなどにてご連絡ください。

**info@kitte.com**

## 全国切手展「スタンペックス ジャパン 2024」に外国人審査員の招聘が 2 年連続で決定

活動報告(27)にて報告済みですが、11 月 30 日には、審査委員会(佐藤浩一 審査委員長)により、スタンペックスジャパン 2024 に外国人審査員を招聘することが 2 年連続で決定しました。

これにより審査チームは、外国人審査員 1 名（香港）を含む 4 名となりました。また、文献部門のアプレントイス審査員 1 名も決定しています。

本展覧会の特徴である『我が国で開催される競争切手展の中で、FIP の審査基準に最も準拠する度合いが高く、審査結果が世界的に通用する競争切手展』は、国際切手展を目指す日本人出品者の間には十分浸透しましたが、この強みを一層強化する為に、日本人以外の国際展審査員を審査チームに招聘することを 2023 年より実施しています。

招聘費用はかかりますが、本施策に賛同した寄附の継続的な確保が見込めたことから、2023 年度より当協会の予算に組み入れ、継続して実施しています。

「スタンペックスジャパン」にご出品を予定されておられる方はもちろん、それ以外の方も是非、この取り組みにご注目ください。



審査委員長 佐藤 浩一  
Mr. SATO Koichi  
FIP Jury, Jury President



審査員 アンドリュー・チョン  
Mr. Andrew CHEUNG  
FIP Jury



審査員 山田 廉一  
Mr. YAMADA Ren-ichi  
FIP Jury



審査員 吉田 敬  
Mr. YOSHIDA Takashi  
Jury

### 寄付の受付について

本ニュースレター発行期間内に、当協会に頂戴した寄付について今後毎回報告することになります。初回の今回は、本年度分を全て掲載します。（日にち、寄付者、金額、目的）

スタンペックスジャパン 2024 寄付金（一口 1000 円）合計 23 口 23,000 円

設楽 光弘 様 ⑥ 榎原 晃二 様 ④ 小林 彰 様 ③ 谷口 昭彦 様 ② 立川 賢一 様 ②  
有吉 伸人 様 ② 菊池 達哉 様 ② 杉山 幸比古 様 ② （丸内の数字は口数です）

それ以外の寄付の受け取り 4 件 合計 550,000 円

- 2/24 東海郵趣連盟様 3 万円 東海凱旋展 記念講演への講師派遣に関する謝礼として
- 3/11 吉田敬様 25 万円 スタンベックスジャパン外国人審査員派遣用途として
- 3/11 スタンペディアオークション株式会社様 25 万円  
ジャパンフィラテリストサミット 2024 プレミアムスポンサーとして
- 3/11 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 2 万円  
スタンベックスジャパン 2024 協賛の一部として

## 各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビジョン事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クオーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

### エキシビジョン事業

第5回全国切手展 スタンベックスジャパン2024 の開催に向けて準備を実行

12/27 展示アクセプト作品出品者へのFB・事前審査の開始

1/1 展示アクセプト作品の発表

郵博 特別切手コレクション展（2024年度）展示団体の決定。

### リサーチ及び研究推進事業

講演講師の派遣

(2/24, 担当: 吉田敬代表理事。東海郵趣連盟主催「第6回東海凱旋切手展」記念講演。

講演名:「富士鹿切手」)

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

「世界の郵趣鑑定の在り方の調査」(準備中)

### フィラテリックPR事業

情報発信を実施(ブログ:12-2月で4件。対前四半期+33%。他にTwitterを実施)

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト(斎享リーダー)の活動の継続

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催

日本切手研究会 6回

外国切手研究会 3回

昭和切手研究会 3回

南方占領地切手コレクターズクラブ 3回

### 次世代育成事業

スタンペディアの「スタンプクラブ2024(仮称)」の監修(作業中)

### 総務ほか

第7期決算準備・第8期予算作成

日常的な経理業務、問合せ業務への対応

(事業進捗の報告者:理事 菊地 恵実)